



ふじもとともこ  
藤本智子

にほんきょうさんとうつしぎだん  
日本共産党津市議団

### 待機児童解消のため 施設整備計画を明確に

**問** 新年度から「子ども・子育て支援新制度」がスタートする。事業計画では、平成27年度、28年度は施設が不足する計画となっており、地域によっては、5年計画の期間中ずっと不足している地域もある。待機児童解消のための整備計画を具体化すべきではないか。学童保育についても施設が不足し待機児童が発生しており、こちらについても計画を明らかにすべきである。

**答** 3号認定子どもの保育の提供量の不足が見込まれることから、平成29年度を目標に約200人の定員拡大を図っていく。そのために民間保育所の施設整備への支援や、公立施設の幼保連携型認定こども園への移行による受入枠の拡大を図っていく。

学童保育については、平成25年度のニーズ調査で全体では待機児童は出ないが、地区ごとでは11地区で123人の待機児童が生じる結果となっている。平成27年度の募集状況では個別調整を行ったこともあり待機児童は出ない状況である。今後は、保護者の就労形態の変化による利用希望の増大に対応できるよう施設整備等に取り組む。平成27年度には3つの小学校区で施設整備や学校施設の活用、クラブの立ち上げ支援等を行う。

### ●その他の質疑・質問●

- 子ども・子育て支援新制度
  - ・保育士確保のため処遇改善を
  - ・発達障がい児童に対するケア体制を充実せよ
  - ・保育料算定に当たって現行通り「年少扶養控除」を考慮せよ
- 獣害対策を強化、防護柵の補助要件を緩和し個人にも対応を
- 地域要望実現のため、インフラ整備予算だけでなく各地域の工事予算も増額せよ など



▲4月に開設された児童発達支援センター「つうぽっぼ」



いわわきけいいち  
岩脇圭一

いっしんかい  
一津会

### 即答・即応し実現する 市役所づくりに向けて

**問** 市長の目指す「即答・即応し実現する市役所」の構築において重要なものとなる職員行動規範の策定が進められているが、どのような取り組みが行われているか。また、100人を超える新規採用が行われ、職員の世代構成のバランスに偏りも見られるが平成22年策定の津市人材育成基本計画に基づいた人材育成、今後の職員採用の方向性についてはどのように考えているか。

**答** 職員行動規範については、職員一人一人が市民の皆様のお役に立てるように頑張ろうという気持ちを、職員自らが考え、自らを見つめ直し、実際の業務の中で行動として示していく決意を、策定の過程を大切にしながら、1年間じっくりと時間をかけて、職員自身の手で具体的な形に表そうと取り組んできたものである。

また、採用については若い職員を積極的に採用することで、少しバランスが悪かった職員の年齢構成が改善できるとともに、組織の活性化も促進するのではないかと考えている。さらには、これまで採用を控えてきた専門職や技能員についても、技術の伝承をしっかりと行うことができ、組織体制が一層強化されるものと考えている。

### ●その他の質疑・質問●

- 基礎自治体としての労働政策の展開は
  - ・本市の雇用労働に関する現状の課題は
  - ・時代の変化に対応した基礎自治体としての労働政策の取り組みを
  - ・若者・女性に向けた支援拡充を
- 太陽光発電施設の適正管理を
- 営農型発電に関する考え方は



▲職員自らの手で行われている職員行動規範づくり